

2. 結婚の状況と結婚意識

2-1. 結婚のきっかけ(Q2)

【男性】

【若年一人っ子家族】および【複数子家族】では、「一緒に暮らしたかったのが最大のきっかけになっているが、【継続一人っ子家族】では「自分の年齢を考えて」が最も多くなっている。このためか、【継続一人っ子家族】では「交際期間の長さを考えて」結婚したという人が【若年一人っ子家族】や【複数子家族】に比べ、少ない。

【女性】

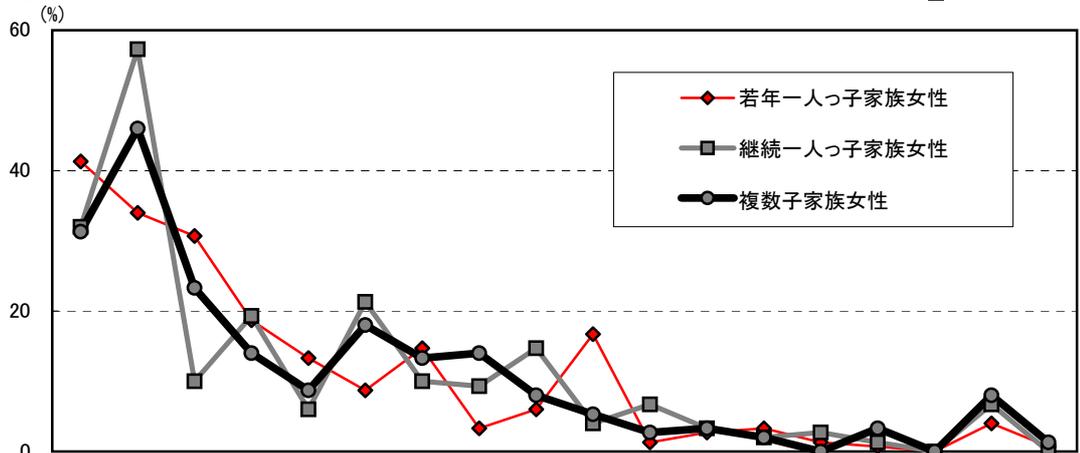
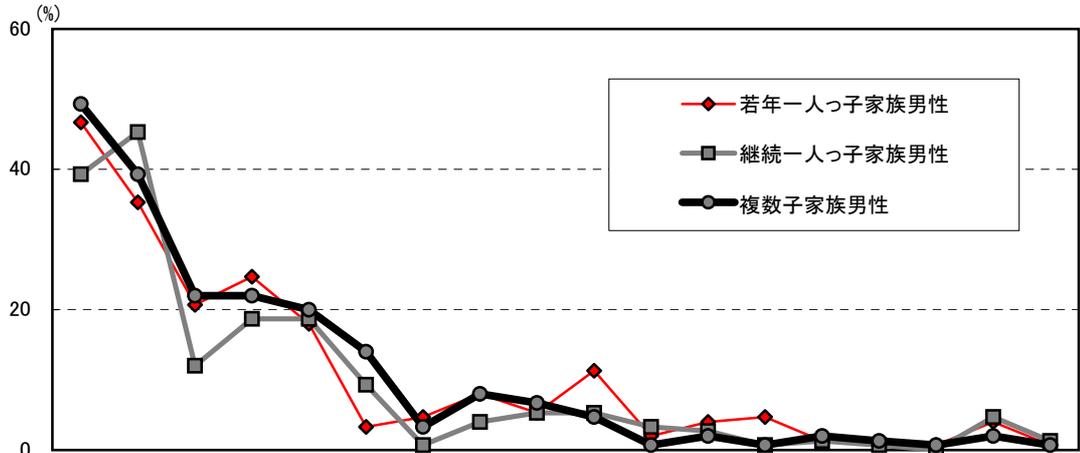
男性同様、【継続一人っ子家族】では、「自分の年齢を考えて」が目立って多い。また、このグループでは「親が心配しているのも」上位に挙がっている。

一方、【若年一人っ子家族】では「子どもができたので」が他グループに比べ多く見られる。

図表2-1-1. 結婚のきっかけ(複数回答)(基数:全体)

各グループN=150		1位	%	2位	%	3位	%
男性	若年一人っ子家族	一緒に暮らしたかった	46.7	自分の年齢を考えて	35.3	家族・子どもが欲しくなった	24.7
	継続一人っ子家族	自分の年齢を考えて	45.3	一緒に暮らしたかった	39.3	相手の年齢を考えて	18.7
	複数子家族	一緒に暮らしたかった	49.3	自分の年齢を考えて	39.3	交際期間の長さを考えて	22.0
女性	若年一人っ子家族	一緒に暮らしたかった	41.3	自分の年齢を考えて	34.0	交際期間の長さを考えて	30.7
	継続一人っ子家族	自分の年齢を考えて	57.3	一緒に暮らしたかった	32.0	親が心配しているのも	21.3
	複数子家族	自分の年齢を考えて	46.0	一緒に暮らしたかった	31.3	交際期間の長さを考えて	23.3

図表2-1-2. 結婚のきっかけ(複数回答)(基数:全体)



各グループ N=150	きっかけはないが 一緒に暮らしたかった	自分の年令を 考えて	交際期間の長さ を考えて	家族・子どもが 欲しくなったので	相手の年令を 考えて	親が心配して いるので	相手に結婚を 迫られて	友達・仲間の 多くが結婚した ので	生活に変化が 欲しくなった ので	子どもが できたので	結婚した方が 経済的に楽 になると思っ たので	親の年令を 考えて	転職・海外 赴任が決まっ たので	近親者が病 気になった ので	職場の上 司から薦め られたので	ライバルが 出現した ので	その他	無記入
若年一人っ子 家族男性	46.7	35.3	20.7	24.7	18.0	3.3	4.7	8.0	5.3	11.3	2.0	4.0	4.7	1.3	0.7	0.7	4.0	0.7
継続一人っ子 家族男性	39.3	45.3	12.0	18.7	18.7	9.3	0.7	4.0	5.3	5.3	3.3	2.7	0.7	1.3	0.7	0.0	4.7	1.3
複数子家族 男性	49.3	39.3	22.0	22.0	20.0	14.0	3.3	8.0	6.7	4.7	0.7	2.0	0.7	2.0	1.3	0.7	2.0	0.7
若年一人っ子 家族女性	41.3	34.0	30.7	18.7	13.3	8.7	14.7	3.3	6.0	16.7	1.3	2.7	3.3	1.3	0.7	0.0	4.0	0.7
継続一人っ子 家族女性	32.0	57.3	10.0	19.3	6.0	21.3	10.0	9.3	14.7	4.0	6.7	3.3	2.0	2.7	1.3	0.0	6.7	0.0
複数子家族 女性	31.3	46.0	23.3	14.0	8.7	18.0	13.3	14.0	8.0	5.3	2.7	3.3	2.0	0.0	3.3	0.0	8.0	1.3

2-2. 結婚年齢(Q4-1)

【男性】

【若年一人っ子家族】および【複数子家族】では、20代で結婚した人が大半だが、【継続一人っ子家族】では、半数強にとどまる。平均結婚年齢も29.3歳と高め。

【若年一人っ子家族】 20代で結婚した割合:70.7%

【継続一人っ子家族】 20代で結婚した割合:54.6%

【複数子家族】 20代で結婚した割合:78.0%

【女性】

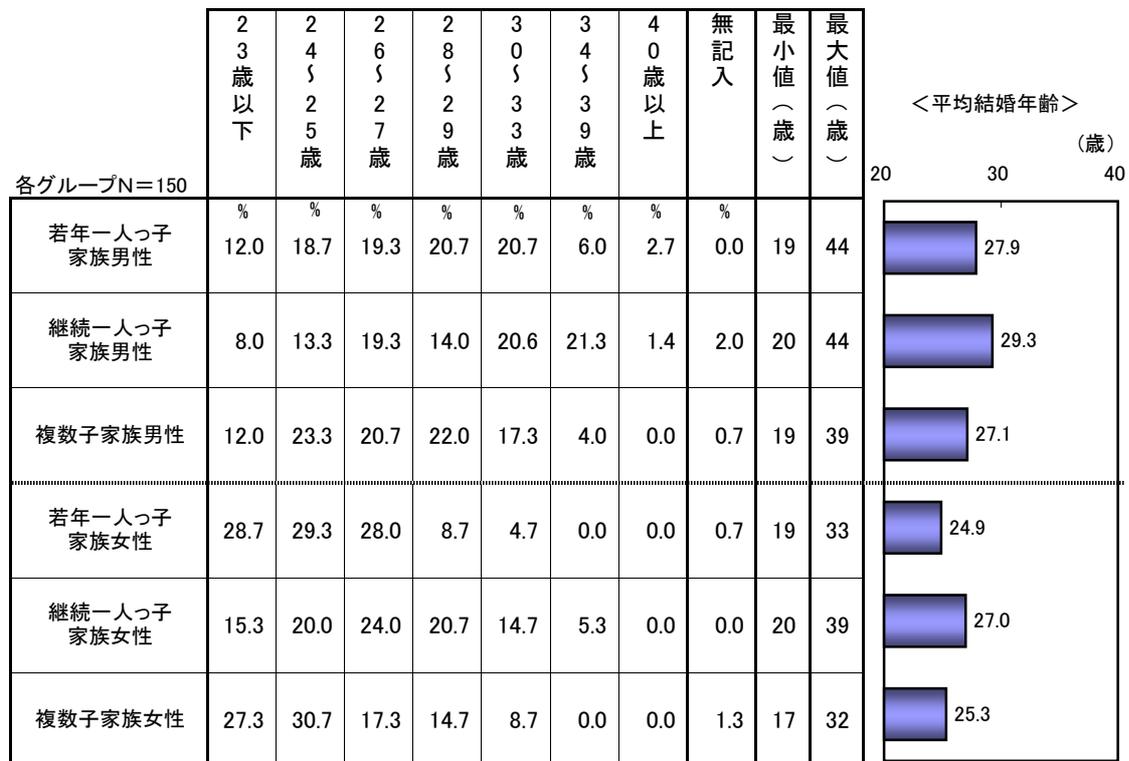
女性も男性と同様の傾向があるが、男性ほど顕著ではない。

【若年一人っ子家族】 20代で結婚した割合:94.7%

【継続一人っ子家族】 20代で結婚した割合:80.0%

【複数子家族】 20代で結婚した割合:90.0%

図表2-2. 結婚年齢(単数回答)(基数:全体)



2-3. 結婚相手の条件(Q5)

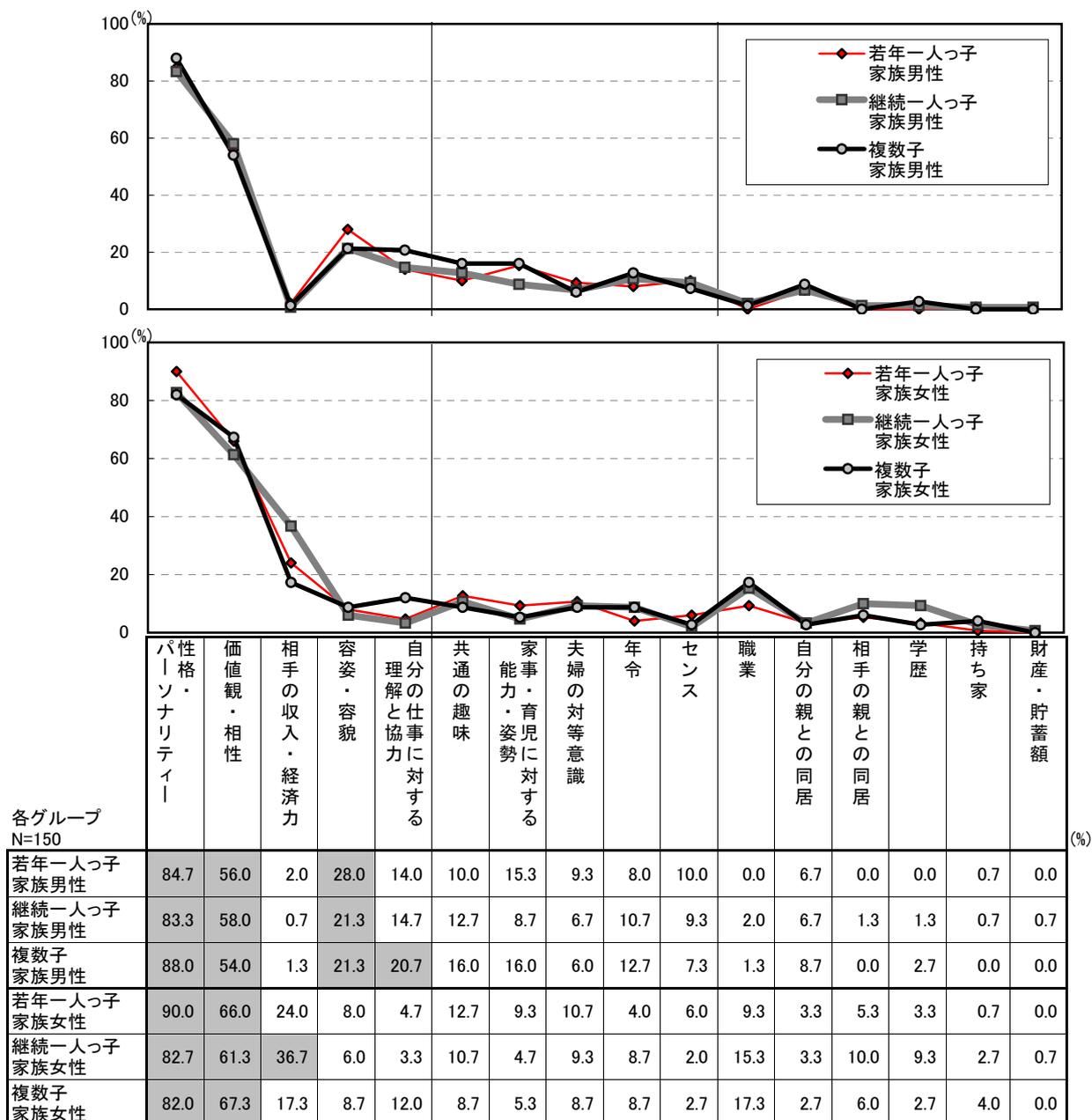
【男性】

どのグループも、まず第1に「性格・パーソナリティー」、ついで「価値観・相性」を条件としている。これらほどではないが「容姿・容貌」を挙げる人も比較的多い。特に、【若年一人っ子家族】に多い。この他、【複数子家族】では「自分の仕事に対する理解と協力」を挙げる人が他グループに比べ多くみられる。

【女性】

男性同様、「性格・パーソナリティー」「価値観・相性」が2大条件である。これに加え【継続一人っ子家族】には「相手の収入・経済力」も条件とする人が多い。

図表2-3. 結婚相手の条件(回答3つまで)(基数:全体)



2-4. 結婚のよい点(Q6-1)

【男性】

結婚のよい点としては、どのグループも共通して「家族や子どもを持てる」を最も多く挙げている。次いで多いのが「精神的な安定が得られる」「好きな人と一緒にいられる」であるが、【継続一人っ子家族】ではこれらを挙げる人の割合が他グループに比べ少なくなっている。

【女性】

上位に挙げられている結婚のよい点は男性同様、「家族や子どもを持てる」をはじめ「好きな人と一緒にいられる」「精神的に安定する」などである。

【継続一人っ子家族】で「家族や子どもを持てる」「好きな人と一緒にいられる」を挙げる人は、他グループに比べやはり少ない。他グループに比べ多いのは「経済的な安定が得られる」である。

「好きな人と一緒にいられる」「人生の喜びや悲しみを分かち合える」を挙げている人は、特に【若年一人っ子家族】に多く見られる。

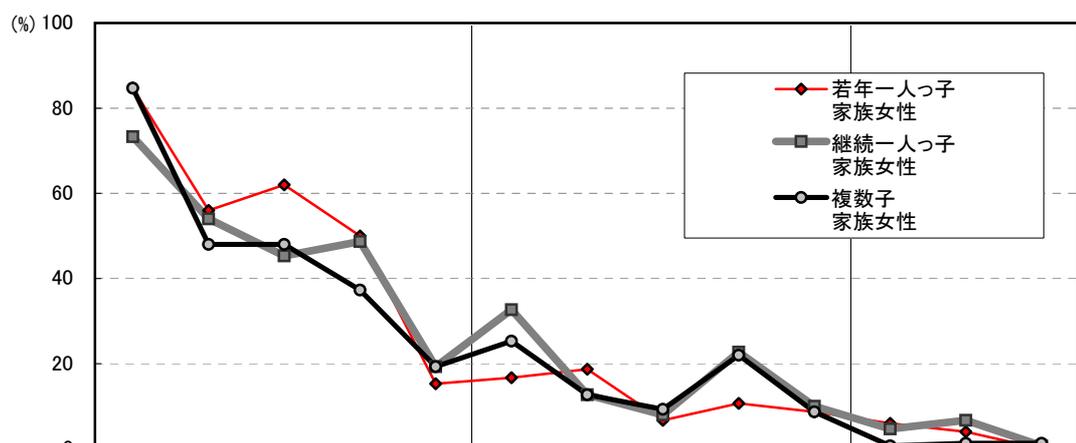
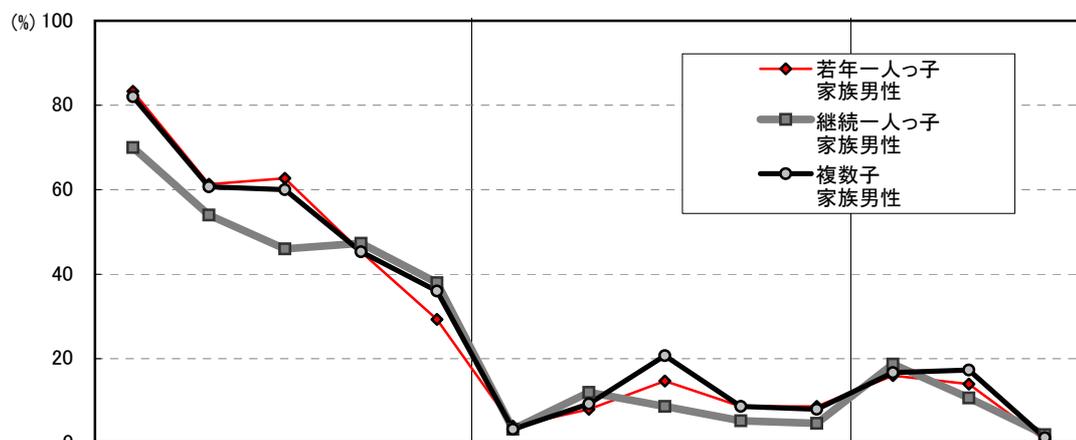
なお、「人生の喜びや悲しみを分かち合える」を挙げる人は【複数子家族】には相対的に少ない。

図表2-4-1. 結婚のよい点・ベスト5(複数回答)(基数:全体)

各グループN=150

		若年一人っ子家族	%	継続一人っ子家族	%	複数子家族	%
男性	1位	家族や子どもを持てる	83.3	家族や子どもを持てる	70.0	家族や子どもを持てる	82.0
	2位	好きな人と一緒にいられる	62.7	精神的な安定が得られる	54.0	精神的な安定が得られる	60.7
	3位	精神的な安定が得られる	61.3	人生の喜びや悲しみを分かち合える	47.3	好きな人と一緒にいられる	60.0
	4位	人生の喜びや悲しみを分かち合える	45.3	好きな人と一緒にいられる	46.0	人生の喜びや悲しみを分かち合える	45.3
	5位	社会的な信用が得られる	29.3	社会的な信用が得られる	38.0	社会的な信用が得られる	36.0
女性	1位	家族や子どもを持てる	84.7	家族や子どもを持てる	73.3	家族や子どもを持てる	84.7
	2位	好きな人と一緒にいられる	62.0	精神的な安定が得られる	54.0	精神的な安定が得られる	48.0
	3位	精神的な安定が得られる	56.0	人生の喜びや悲しみを分かち合える	48.7	好きな人と一緒にいられる	48.0
	4位	人生の喜びや悲しみを分かち合える	50.0	好きな人と一緒にいられる	45.3	人生の喜びや悲しみを分かち合える	37.3
	5位	親や周囲の期待に応えられる	18.7	経済的な安定が得られる	32.7	経済的な安定が得られる	25.3

図表2-4-2. 結婚のよい点(複数回答)(基数:全体)



	家族や子どもを持つ	精神的な安定が得られる	好きな人と一緒にいられる	人生の喜びや悲しみを分かち合える	社会的な信用が得られる	経済的な安定が得られる	親や周囲の期待に応えられる	一人前の大人だと感じられる	親から独立できる	交友関係が広がる	生活上の不便が無くなる	性的な充足が得られる	あてはまるものはない
各グループN=150													
若年一人っ子 家族男性	83.3	61.3	62.7	45.3	29.3	4.0	8.0	14.7	8.7	8.7	16.0	14.0	0.7
継続一人っ子 家族男性	70.0	54.0	46.0	47.3	38.0	3.3	12.0	8.7	5.3	4.7	18.7	10.7	2.0
複数子 家族男性	82.0	60.7	60.0	45.3	36.0	3.3	9.3	20.7	8.7	8.0	16.7	17.3	1.3
若年一人っ子 家族女性	84.7	56.0	62.0	50.0	15.3	16.7	18.7	6.7	10.7	8.7	6.0	4.0	0.0
継続一人っ子 家族女性	73.3	54.0	45.3	48.7	19.3	32.7	12.7	8.0	22.7	10.0	4.7	6.7	0.7
複数子 家族女性	84.7	48.0	48.0	37.3	19.3	25.3	12.7	9.3	22.0	8.7	0.7	1.3	1.3

2-5. 結婚のよくない点(Q6-2)

【男性】

男性が考える結婚のよくない点は「自分の自由になるお金が少なくなる」「自分の自由になる時間が少なくなる」「行動が制限される」であり、どのグループも共通している。

【女性】

女性も「自分の自由になる時間が少なくなる」「行動が制限される」を挙げているが、男性とは異なり、「自分の自由になるお金が少なくなる」はさほど挙げていない。むしろ「義父母や親戚などの人間関係が複雑になる」を挙げている。特に【継続一人っ子家族】で多く、このグループでは最大のよくない点となっている。

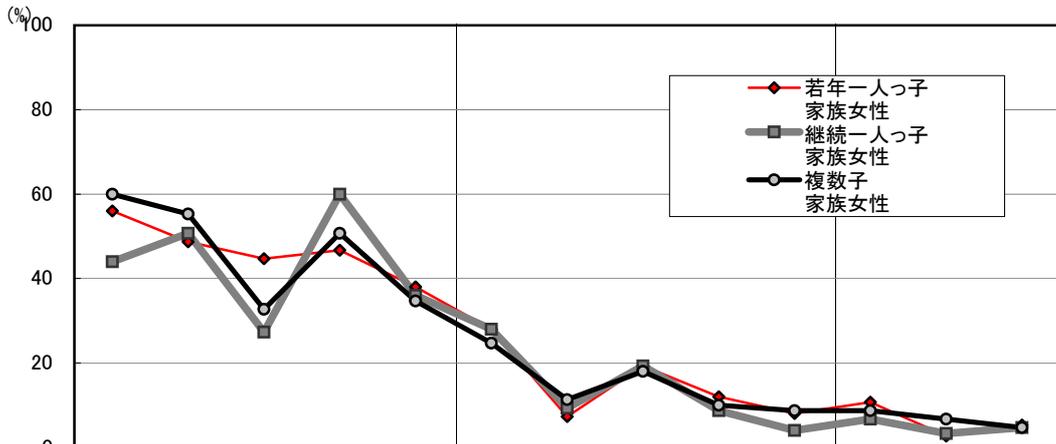
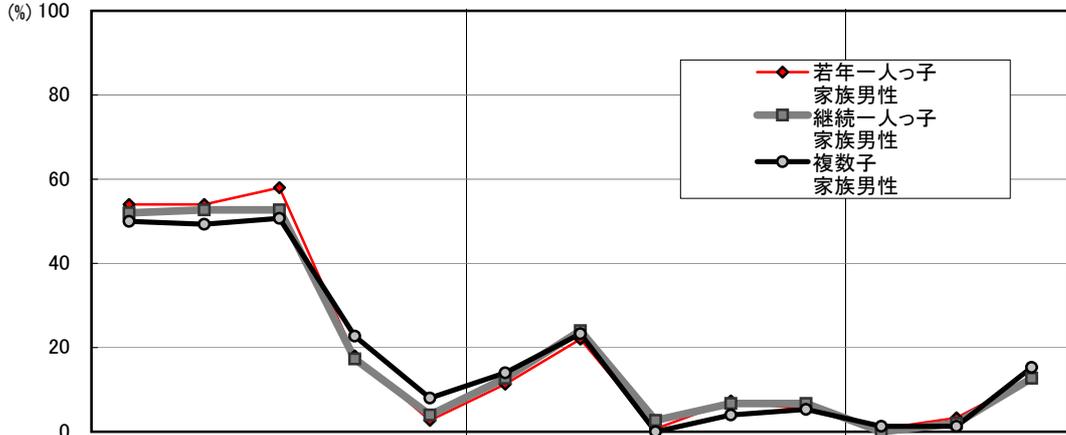
また、【継続一人っ子家族】では「自由になる時間やお金が少なくなる」を挙げる人は他グループに比べ少ない。【複数子家族】に比べ、時間的にも経済的にも恵まれているといえる。

図表2-5-1. 結婚のよくない点・ベスト5(複数回答)(基数:全体)

各グループN=150

		若年一人っ子家族	%	継続一人っ子家族	%	複数子家族	%
男性	1位	自分の自由になるお金が少なくなる	58.0	自分の自由になるお金が少なくなる	52.7	自分の自由になるお金が少なくなる	50.7
	2位	自分の自由になる時間が少なくなる	54.0	行動が制限される	52.7	自分の自由になる時間が少なくなる	50.0
	3位	行動が制限される	54.0	自分の自由になる時間が少なくなる	52.0	行動が制限される	49.3
	4位	家族扶養の責任が生まれる	22.0	家族扶養の責任が生まれる	24.0	家族扶養の責任が生まれる	23.3
	5位	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	18.0	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	17.3	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	22.7
女性	1位	自分の自由になる時間が少なくなる	56.0	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	60.0	自分の自由になる時間が少なくなる	60.0
	2位	行動が制限される	48.7	行動が制限される	50.7	行動が制限される	55.3
	3位	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	46.7	自分の自由になる時間が少なくなる	44.0	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	50.7
	4位	自分の自由になるお金が少なくなる	44.7	家事に縛られる	36.0	家事に縛られる	34.7
	5位	家事に縛られる	38.0	ストレスがたまる	28.0	自分の自由になるお金が少なくなる	32.7

図表2-5-2. 結婚のよくない点(複数回答)(基数:全体)



	自分の自由になる時間が少なくなる	行動が制限される	自分の自由になるお金が少なくなる	義父母や親戚など人間関係が複雑になる	家事に縛られる	ストレスがたまる	家族扶養の責任が生まれる	仕事がいづらくなる／やめなければならぬ	交友関係が狭くなる	恋愛が自由にできなくなる	親元から離れなければならなくなる	生活のレベル・質が落ちる	あてはまるものはない
各グループ N=150													
若年一人っ子 家族男性	54.0	54.0	58.0	18.0	2.7	11.3	22.0	0.7	7.3	5.3	0.7	3.3	12.7
継続一人っ子 家族男性	52.0	52.7	52.7	17.3	4.0	12.7	24.0	2.7	6.7	6.7	0.0	2.0	12.7
複数子 家族男性	50.0	49.3	50.7	22.7	8.0	14.0	23.3	0.0	4.0	5.3	1.3	1.3	15.3
若年一人っ子 家族女性	56.0	48.7	44.7	46.7	38.0	28.0	7.3	19.3	12.0	8.0	10.7	2.7	5.3
継続一人っ子 家族女性	44.0	50.7	27.3	60.0	36.0	28.0	9.3	19.3	8.7	4.0	6.7	3.3	4.7
複数子 家族女性	60.0	55.3	32.7	50.7	34.7	24.7	11.3	18.0	10.0	8.7	8.7	6.7	4.7

2-6. 『女性の結婚』『男性』の結婚』に対する意見

2-6-1. 『女性の結婚』に対する意見(Q7)

【男性】

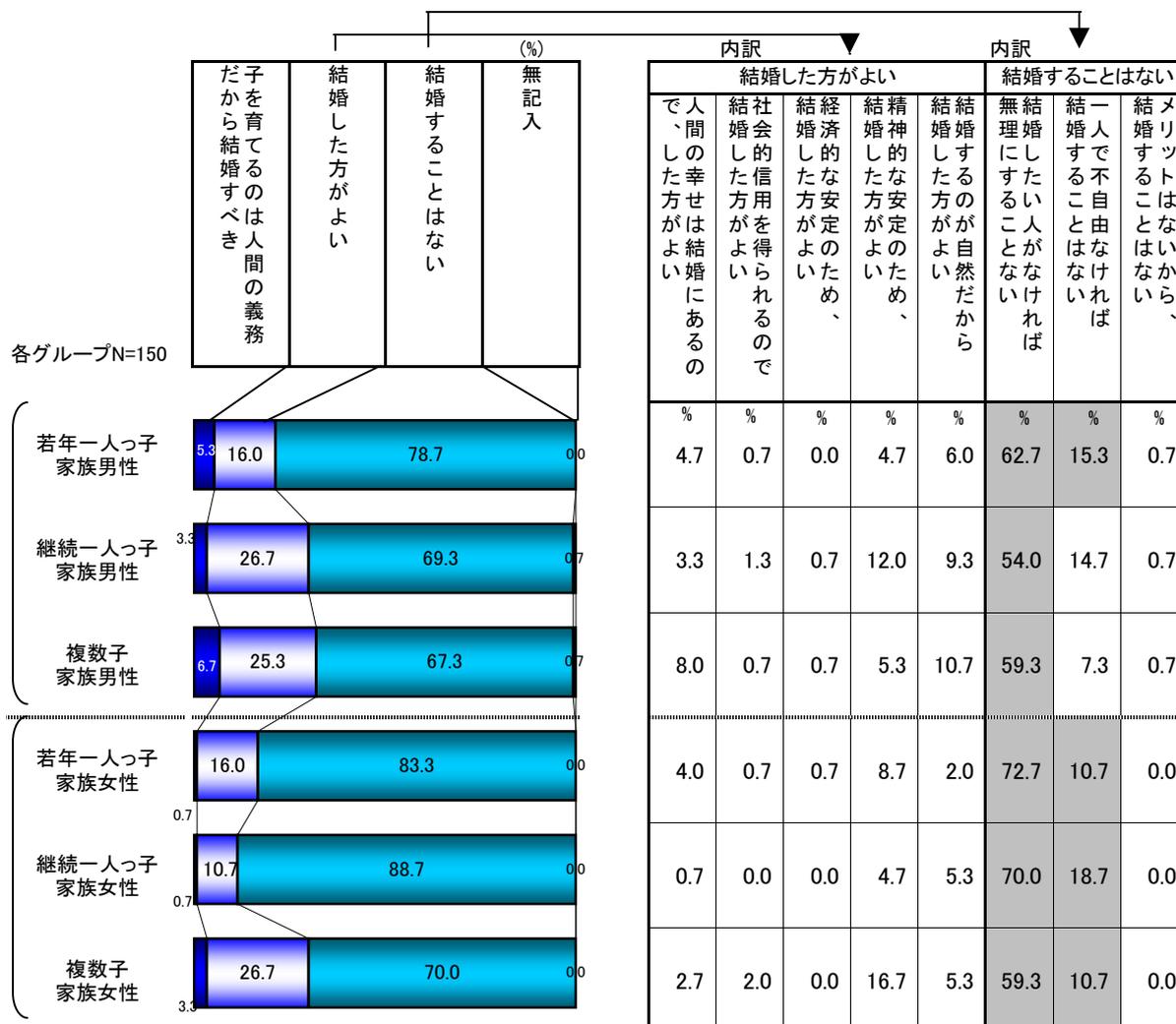
『女性の結婚』に関し、男性の意見をみると、「子を育てるのは人間の義務だから結婚すべき」と考えている人はごく少数である。また、理由はともかくとして「結婚した方がよい」と考えている人も多くなく、6割前後は「結婚したい人がいなければ無理に結婚することはない」と考えている。

「結婚したい人がいなければ／1人で不自由なれば結婚することはない」と考えている人は、【若年一人っ子家族】に特に多い。若い人ほどこの傾向が顕著になっていることがうかがえる。

【女性】

「結婚したい人がいなければ／1人で不自由なれば結婚することはない」と考えている人は、女性では更に多くなっており、【若年一人っ子家族】では8割強、【継続一人っ子家族】では9割弱にも達する。【複数子家族】では一人っ子家族グループより少なく、7割となっている。

図表2-6-1. 『女性の結婚』への意見(単数回答)(基数:全体)



2-6-2. 『男性の結婚』に対する意見(Q8)

【男性】

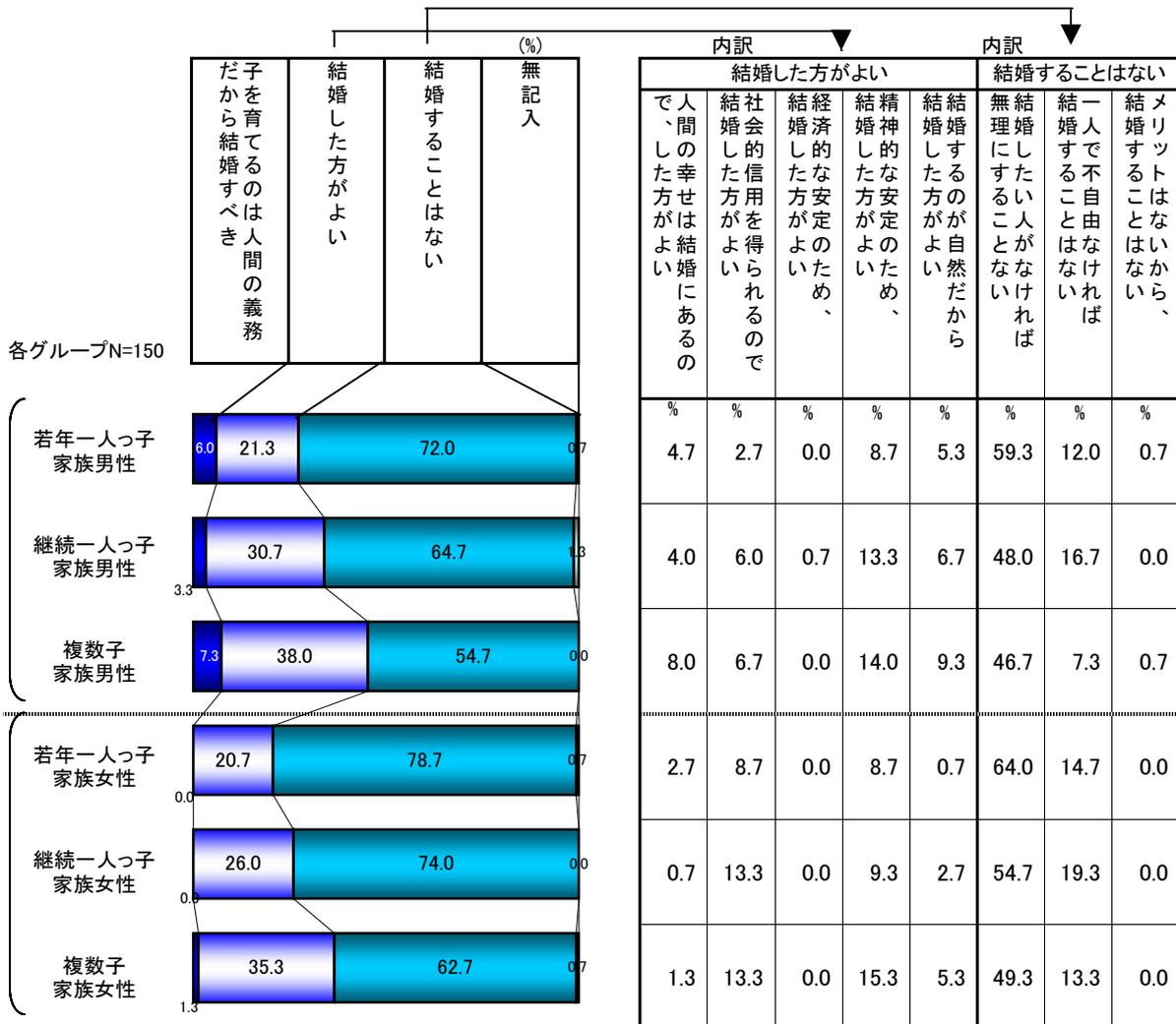
『男性の結婚』に関しても「結婚したい人がいなければ／1人で不自由なければ結婚することはない」とする人が多いが、『女性の結婚』ほどではない。

【複数子家族】では「義務だから結婚すべき(7.3%)」「結婚した方がよい(38.0%)」と考える人が4割強を占めている。

【女性】

「結婚した方がよい」と考える人はやはり【複数子家族】に多くみられる。

図表2-6-2. 『男性の結婚』への意見(単数回答)(基数:全体)



2-7. 結婚に対する意識

2-7-1. 『結婚には喜びや希望を感じる』に対する意見(Q9-①)

【男性】

どのグループも9割前後が肯定しているが、積極的に肯定する人は【継続一人っ子家族】ではやや少ない。

【女性】

男性同様、どのグループも8割～9割が肯定しているが、積極的に肯定する人は【継続一人っ子家族】および【複数子家族】では3割強に留まる。

2-7-2. 『結婚しないで子どもを持ってもいいと思う』に対する意見(Q9-②)

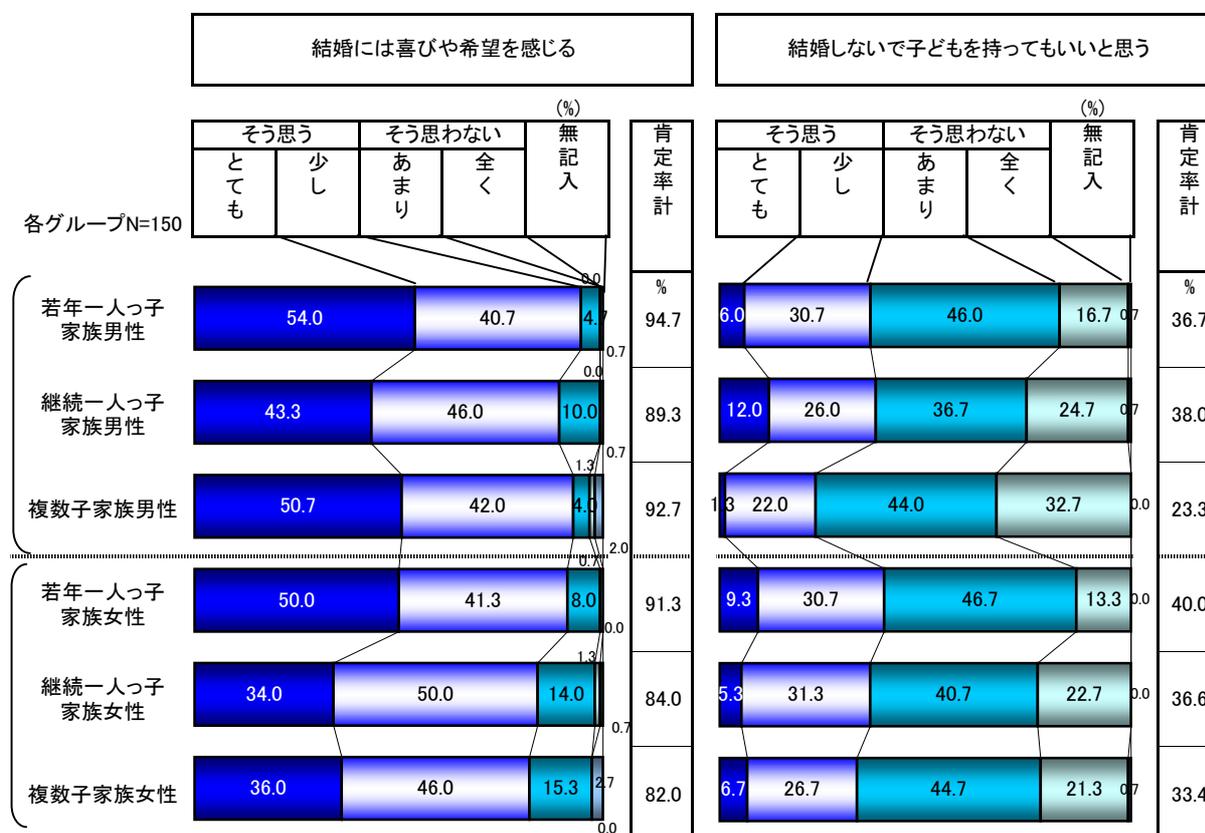
【男性】

どのグループも肯定者は4割に満たず、特に【複数子家族】では23.3%となっている。

【女性】

やはり肯定者の方が少ないものの、【若年一人っ子家族】では4割が肯定している。

図表2-7-1. 結婚に関する意見(単数回答)(基数:全体)



2-7-3. 『子どもができたという理由で結婚するのは望ましくない』に対する意見(Q9-③)

【男性】

どのグループも「望ましくない」と考える人は4割前後で、半数以上は否定している。

【女性】

男性とは異なり、グループ別の違いがみられる。【複数子家族】では「望ましくない」と考える人が半数近くおり、他グループに比べ高くなっている。

2-7-4. 『一度家庭を持ったら、余程のことがない限り離婚すべきでない』に対する意見(Q9-④)

【男性】

どのグループも大半は「離婚すべきでない」と考えているが、その割合は【継続一人っ子家族】でやや少ない。

【女性】

やはり、「離婚すべきでない」と考える人が多いが、男性ほどではない。女性の方が離婚を許容する傾向がある。この傾向は【継続一人っ子家族】で見られる。

図表2-7-2. 結婚に関する意見(単数回答)(基数:全体)

